

農村文化の向上を計るが
今日の急務である

拓務技師 江越信胤

感所頭年

新年の初頭にあたり在
伯邦人が此處に活動す
る上に於て此國の農村
生活が故國の農村の現状
と比較して如何に幸福で
あるかを知ると共に、
又如何に常に不満の心
持つて用心の必要な事
に想到して茲に新年の所
感として申述べて見たい

遙かに故郷の山河を想へば近年

東北地方には大作があつたし、

北海岸地方には海嘯があつたし、

九州四國地方には旱害があつた

り關西の風水害等天災が甚だしか

つた、特に昨年の凶作は大抵の人

は米の不作だけ考へるが米の外

に烟の作物があつても農家にさ

つて大切なものであるが之すらも

されない、云ふ怪で同地方で

は雀の鳴き聲も聞かない有様で、

眼に耽服ざるを得ない。又涙で、

涙で、特に昨年の凶作があつたし、

各地よりの銀色の報告で云ふ

く、雨期に入りながら分配が中

庸く、時期が定まらない。その

うが、馬耕牛耕の氣氛が低

く、氣温が一般に低下する。

伯邦人が此處に活動する上に於て此國の農村の現状と比較して如何に幸福であるかを知ると共に、

又如何に常に不満の心持つて用心の必要な事に想到して茲に新年の所感として申述べて見たい

遙かに故郷の山河を想へば近年

東北地方には大作があつたし、

北海岸地方には海嘗があつたし、

九州四國地方には旱害があつた

り關西の風水害等天災が甚だしか

つた、特に昨年の凶作は大抵の人

は米の不作だけ考へるが米の外

に烟の作物があつても農家にさ

つて大切なものであるが之すらも

されない、云ふ怪で同地方で

は雀の鳴き聲も聞かない有様で、

眼に耽服ざるを得ない。又涙で、

涙で、特に昨年の凶作があつたし、

各地よりの銀色の報告で云ふ

く、雨期に入りながら分配が中

庸く、時期が定まらない。その

うが、馬耕牛耕の氣氛が低

く、氣温が一般に低下する。

伯邦人が此處に活動する上に於て此國の農村の現状と比較して如何に幸福であるかを知ると共に、

又如何に常に不満の心持つて用心の必要な事に想到して茲に新年の所感として申述べて見たい

遙かに故郷の山河を想へば近年

東北地方には大作があつたし、

北海岸地方には海嘗があつたし、

九州四國地方には旱害があつた

り關西の風水害等天災が甚だしか

つた、特に昨年の凶作は大抵の人

は米の不作だけ考へるが米の外

に烟の作物があつても農家にさ

つて大切なものであるが之すらも

されない、云ふ怪で同地方で

は雀の鳴き聲も聞かない有様で、

眼に耽服ざるを得ない。又涙で、

涙で、特に昨年の凶作があつたし、

各地よりの銀色の報告で云ふ

く、雨期に入りながら分配が中

庸く、時期が定まらない。その

うが、馬耕牛耕の氣氛が低

く、氣温が一般に低下する。

伯邦人が此處に活動する上に於て此國の農村の現状と比較して如何に幸福であるかを知ると共に、

又如何に常に不満の心持つて用心の必要な事に想到して茲に新年の所感として申述べて見たい

遙かに故郷の山河を想へば近年

東北地方には大作があつたし、

北海岸地方には海嘗があつたし、

九州四國地方には旱害があつた

り關西の風水害等天災が甚だしか

つた、特に昨年の凶作は大抵の人

は米の不作だけ考へるが米の外

に烟の作物があつても農家にさ

つて大切なものであるが之すらも

されない、云ふ怪で同地方で

は雀の鳴き聲も聞かない有様で、

眼に耽服ざるを得ない。又涙で、

涙で、特に昨年の凶作があつたし、

各地よりの銀色の報告で云ふ

く、雨期に入りながら分配が中

庸く、時期が定まらない。その

うが、馬耕牛耕の氣氛が低

く、氣温が一般に低下する。

伯邦人が此處に活動する上に於て此國の農村の現状と比較して如何に幸福であるかを知ると共に、

又如何に常に不満の心持つて用心の必要な事に想到して茲に新年の所感として申述べて見たい

遙かに故郷の山河を想へば近年

東北地方には大作があつたし、

北海岸地方には海嘗があつたし、

九州四國地方には旱害があつた

り關西の風水害等天災が甚だしか

つた、特に昨年の凶作は大抵の人

は米の不作だけ考へるが米の外

に烟の作物があつても農家にさ

つて大切なものであるが之すらも

されない、云ふ怪で同地方で

は雀の鳴き聲も聞かない有様で、

眼に耽服ざるを得ない。又涙で、

涙で、特に昨年の凶作があつたし、

各地よりの銀色の報告で云ふ

く、雨期に入りながら分配が中

庸く、時期が定まらない。その

うが、馬耕牛耕の氣氛が低

く、氣温が一般に低下する。

伯邦人が此處に活動する上に於て此國の農村の現状と比較して如何に幸福であるかを知ると共に、

又如何に常に不満の心持つて用心の必要な事に想到して茲に新年の所感として申述べて見たい

遙かに故郷の山河を想へば近年

東北地方には大作があつたし、

北海岸地方には海嘗があつたし、

九州四國地方には旱害があつた

り關西の風水害等天災が甚だしか

つた、特に昨年の凶作は大抵の人

は米の不作だけ考へるが米の外

に烟の作物があつても農家にさ

つて大切なものであるが之すらも

されない、云ふ怪で同地方で

は雀の鳴き聲も聞かない有様で、

眼に耽服ざるを得ない。又涙で、

涙で、特に昨年の凶作があつたし、

各地よりの銀色の報告で云ふ

く、雨期に入りながら分配が中

庸く、時期が定まらない。その

うが、馬耕牛耕の氣氛が低

く、氣温が一般に低下する。

伯邦人が此處に活動する上に於て此國の農村の現状と比較して如何に幸福であるかを知ると共に、

又如何に常に不満の心持つて用心の必要な事に想到して茲に新年の所感として申述べて見たい

遙かに故郷の山河を想へば近年

東北地方には大作があつたし、

北海岸地方には海嘗があつたし、

九州四國地方には旱害があつた

り關西の風水害等天災が甚だしか

つた、特に昨年の凶作は大抵の人

は米の不作だけ考へるが米の外

に烟の作物があつても農家にさ

つて大切なものであるが之すらも

されない、云ふ怪で同地方で

は雀の鳴き聲も聞かない有様で、

眼に耽服ざるを得ない。又涙で、

涙で、特に昨年の凶作があつたし、

各地よりの銀色の報告で云ふ

く、雨期に入りながら分配が中

庸く、時期が定まらない。その

うが、馬耕牛耕の氣氛が低

く、氣温が一般に低下する。

伯邦人が此處に活動する上に於て此國の農村の現状と比較して如何に幸福であるかを知ると共に、

又如何に常に不満の心持つて用心の必要な事に想到して茲に新年の所感として申述べて見たい

遙かに故郷の山河を想へば近年

東北地方には大作があつたし、

北海岸地方には海嘗があつたし、

九州四國地方には旱害があつた

り關西の風水害等天災が甚だしか

つた、特に昨年の凶作は大抵の人

は米の不作だけ考へるが米の外

に烟の作物があつても農家にさ

つて大切なものであるが之すらも

されない、云ふ怪で同地方で</

(卷) (第七十四千一第一)

西刺伯時報

(日曜大) 日一月一年十和昭

Sociedade Colonizadora do Brasil Ltd.

RUA ANNITA GARIBALDI No. 217
Caixa Postal No. 2975 Telephone No. 2-1342
São Paulo - Brasil

賀正
昭和十年元旦
サロン日伯

中村留藏

謹賀新年
昭和十年元旦
聖市ヒニダイロバ
ルア・テオドロ・サン
バイオ三五

淺倉春一

謹賀新年
昭和十年元旦
Rua da gloria 86 - S. Paulo

賀正
昭和十年元旦
在伯球陽協會

近藤周三郎

謹賀新年
昭和十年一月一日
サントス市セナドル
フェイクヨウ一九四
電話二二二六八八

豊吉眞水路

謹賀新年
昭和十年一月一日
聖市ルア・セーレス一一
郵函二三
電話二一四四五七

正賀
昭和十年一月一日
西中菓子店

武田義信

謹賀新年
昭和十年一月一日
Av. Campos Salles 163
Santos

伊藤庄吉

謹賀新年
昭和十年一月一日
聖市コンデ・デ
ナルゼーダス街一四八
電話二二二六八八

小牧政敏

謹賀新年
昭和十年一月一日
Rua Rodrigo Silva 38
Tel. 2-5773 São Paulo

賀正
A. ORIENTAL
原田高式
中井繁次郎
共營
サントス市
和洋菓子製造卸小賣
パース・ポンボンス

正賀
昭和十年一月一日
東山銀行部

珈琲ヨミサリオ

力一ザ東

ミヅカミ・イ・コンバニア

モント・デステ・デ・カムピーナス農場

カムビーナス 電話六二一七八二六三〇六

モンテ・デステ・デ

中央線ビンダモニヤンガーバ 郵函一〇號

新賀
昭和十年一月一日
くろめや佐田製造所

謹賀新年
昭和十年一月一日
聖市コンタ・テ・サンセーダス街八一番
大坂商船株式會社
各艦船食糧品貿込業
御用達

K合資商會

小瀬友一市
前田京一

南米サントス市
電話セントラル二六七番

新賀
昭和十年一月一日
三吉文人

住宅サントス市セナドル
フエージョ街二二〇
電話六九一
工場トール・カルバヨ
メンドンサ街六九

CASA M. DOI

NOVO HOTEL JUQUIA' EST. JUQUIA'

運送部擔任
アンタルチカ・ビル會社代理部
農產物仲買及委託販賣
モインニヨサンクスター特約店
ルア・ジョアキン・タボラ
一八九番 電話二〇五六

土井萬七

武藤五郎
井戸良次

奥地のコントニツ

別荘番

・釋迦冷郎

私の同僚、ふ夫婦者に、ソロ線で別荘番をしてゐるが、はるばる一萬千哩の潮路を分けて来て、人の別荘の番な人かしてあうさいふ程の者だから、その思想のほども思ひやられるのである。

この別荘の主人は、K子さんで、パウロで暮してなり、一人息子は民間航空會社の飛行士だ、別荘もいつても、蝶のたかつた梨の木が僅かばかり、實のならない石女みたいな葡萄の棚が數列あるだけのもので、仕事についてもただのものだから、亭主氏の方は、陽が高く上つた頃、起きて来て梨の木の下に寝転んで、キンケの講談に三十八年の中古のコラソンを高鳴らせ、細君の方は、奥地にある頃、カボクロ、古ふ呂敷三枚で交換した手ミシンに向つて左の胸が反対にくついた力半頃から寝台に入り込んで、亭主氏は、マダラツオ、彼何者ぞ、さう、遠大の「海外成功」の夢を口頭でも明つてゐれば済むのである、そして夜さもなれば七時半頃から始まつて何處で終るか水流れる如くである、僕の話は所詮から始まつて何處で終るか水の流れの如くである、春の日本に醉つた頃、カボクロ、イケアベ間を通つてシリカミ、イケアベ間を通つてゐるリベイロ河の川蒸氣は、ひいき目に見ても十八世紀の代物である、船尾についた水車、べらぼうに長、煙突、博物館に出品された代物をこゝ使つてゐる様な感じがある。



河に住むもの

×神經坊

人間は、自慢の種に困らないやう

だもので、この陽気な別荘番夫機に監視されると別荘番なんて起き上り、さながら連日の劇

は、ソスのやうに荷物棚にかけよ

旋回、偵察、これ久しくするのである、そして、この夫婦の就効状

況な、サン、パウロで、疟疾の體

ならましてもしてゐるドナ、マイに

逐一報告するといふ様だ

だもので、この陽気な別荘番夫

は、ソスのやうに荷物棚にかけよ

旋回、偵察、これ久しくするのである、そして、この夫婦の就効状

況な、サン、パウロで、疟疾の體

ならまともしてゐるドナ、マイに

逐一報告するといふ様だ

だもので、この陽気な別荘番夫

は、ソスのやうに荷物棚にかけよ

旋回、偵察、これ久しくするのである、そして、この夫婦の就効状

況な、サン、パウロで、疟疾の體

ならまともしてゐるドナ、マイに

逐一報告するといふ様だ

だもので、この陽気な別荘番夫

は、ソスのやうに荷物棚にかけよ

旋回、偵察、これ久しくするのである、そして、この夫婦の就効状

況な、サン、パウロで、疟疾の體

ならまともしてゐるドナ、マイに

逐一報告するといふ様だ

だもので、この陽気な別荘番夫

妻は、サン、パウロ方向よりの爆

者に對しては甚だ敏感、さながら

私設對空監視哨の感がある、で飛

行機来る！ さ見るや、彼氏は誰

みかけのキングをそぼり出して

別のエンシニアだなんすと握つ

て起き上り、さながら連日の劇

は、ソスのやうに荷物棚にかけよ

旋回、偵察、これ久しくするのである、そして、この夫婦の就効状

況な、サン、パウロで、疟疾の體

ならまともしてゐるドナ、マイに

逐一報告するといふ様だ

だもので、この陽気な別荘番夫

は、ソスのやうに荷物棚にかけよ

旋回、偵察、これ久しくするのである、そして、この夫婦の就効状

況な、サン、パウロで、疟疾の體

ならまともしてゐるドナ、マイに

逐一報告するといふ様だ

だもので、この陽気な別荘番夫

は、ソスのやうに荷物棚にかけよ

旋回、偵察、これ久しくするのである、そして、この夫婦の就効状

況な、サン、パウロで、疟疾の體

ならまともしてゐるドナ、マイに

逐一報告するといふ様だ

だもので、この陽気な別荘番夫

は、ソスのやうに荷物棚にかけよ

旋回、偵察、これ久しくするのである、そして、この夫婦の就効状

賀正

座光寺與市建築請負

北バラナロンドリーナ

賀正

赤津商店雜貨商

北バラナロンドリーナ

賀正

北バラナロンドリーナ

賀正

北バラナロンドリーナ

賀正

北バラナロンドリーナ

賀正

北バラナロンドリーナ

賀正

北バラナロンドリーナ

賀正

村本商店

北バラナロンドリーナ

丸石兄弟鉄工場

北バラナ分工場

北バラナロンドリーナ町

郵局

小原商店

北バラナ

北バラナ

北バラナ

石印

北バラナ

ノーパ・ダンナフヒ

ノーパ・ダンナフヒ

ノーパ・ダンナフヒ

ノーパ・ダンナフヒ

ノーパ・ダンナフヒ

ブランタ機

北バラナ

ノーパ・ダンナフヒ

ノーパ・ダンナフヒ

ノーパ・ダンナフヒ

ノーパ・ダンナフヒ

ノーパ・ダンナフヒ

刈鎌刃物

北バラナ

ノーパ・ダンナフヒ

ノーパ・ダンナフヒ

ノーパ・ダンナフヒ

ノーパ・ダンナフヒ

ノーパ・ダンナフヒ

其他農具一式

北バラナ

ノーパ・ダンナフヒ

ノーパ・ダンナフヒ

ノーパ・ダンナフヒ

ノーパ・ダンナフヒ

ノーパ・ダンナフヒ

年新賀謹

日一月一

ソロカバナ線
セルクーラ・ザール
郵田中商店
弘内外食料品雜貨
農產物仲買

年新賀謹

日一月一

ソロカバナ線
アグードス市
郵
函
二
一
七

秋原商店

内外品雜貨
農產物仲買

賀正

一月一日

ソロカバナ線
郵
函
一一
六

松永敏夫

勝又晴義

賀正
一月一日ソロカバナ線
セラウ町
郵
函
一一
六

年新賀謹

日一月一

毛利高義
堀本禮造
歯科
ソロカバナ線
郵
函
一
四
六

賀正

一月一日

ソロカバナ線
セラウ町
郵堀江彰
運搬業賀正
一月一日

小山武光

賀正

運搬業

謹賀新年
昭和十年一月一日ホテル・インテルナショナル
館主 森 岩 楠ソロカバナ線
アグードス市
郵
前謹賀新年
昭和十年一月一日第一モンソン
組合長 平田清
専務理事 清田満
外組合員一同

旭産業組合

謹賀新年
昭和十年一月一日第一モンソン
第一旭耕地
耕主平田満
外在耕者一同謹賀新年
正日一月一
内外雜貨商松浦商店
ソロカバナ線
郵
函
五
八

年新賀謹

日一月一

加納商店
加納清
内外雜貨
農產物仲買謹賀新年
正日一月一
内外雜貨商橋本商店
ソロカバナ線
郵
函
四
九

年新賀謹

日一月一

第一旭耕地
耕主平田満
外在耕者一同謹賀新年
正日一月一
内外雜貨商松浦商店
ソロカバナ線
郵
函
五
八

PHOTO NAGOSHI

謹賀新年
昭和十年一月一日名越正夫
有田畦四郎
阿波羅市

PHOTO NAGOSHI

謹賀新年
昭和十年一月一日名越正夫
有田畦四郎
阿波羅市

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買宮原本商店
ソロカバナ線
郵
函
二
三ホテル・ド・ソール
御旅館 彌生

年新賀謹

日一月一

内外雜貨
農產物仲買

(五十一) - 第一千四十七號

ルイフロップの方上市聖

生 Z.Y.X

市毛綾創書
非常時に直面し
て艦隊派の全盛
示したのも時
世、移民問題に
遭遇して歐洲の
林大使、野田書
記官が「塘威
の時世」、塊威
が被が總領事に
公使館から轉任
したばかりの彼
が移氏問題に關
し歎詠し對立型
の御手並は明日の
も山のものさも
「時世」である、彼
の御論は常に八
角形に結晶した水
領事
た、實際彼に接し
ンは外文官の御世
領事の圓滑さも無
て而かも冷やか
が司法大臣につた
出る理論は常に八
現はれて居る、或
として大藏省事件
見度い、秋霜君日
かに、次に事務的
かに、がよ其の次が政治
だよ、大藏大臣に
つてもネエ振りせ
ぜ、アソ、君そ
の發行方法を知つ
公債なんか發行す
、不換紙幣を發行
大藏省の事なら何
定の次元算はどう
かに、次に事務的
だよ、大藏大臣に
これが新副領
圓満しや脱な點
欠少し補つてある、
て聚りあり、匯算
にむながら内政も
一これが新副領
味の調和出来る處が彼の特徴であ
る、彼は口癖に「男子として貿易事
業に從事する程愉快なことはない
」と云つて、彼には相當の抱負があ
が秘められてゐるだらうがこれまで
最後まで海外を目標としてゐる點
だけは實はねばなるまい、クリー
ント運動「參謀本部」ミダーンズの趣
員として活動してゐるものその現
れかも知れない

HOTEL YUWAI

喪中に付年賀缺禮
プラ拓バストス移住地
指定旅館

岩井旅館
岩井 兼一
バストス移住地
ランシャリア驛

謹賀新年
昭和十年元旦
珈琲精選、精米業

中野米太郎
バストス市街地
電話 一五

年新賀謹
旦元年十和昭
農產物仲買
内外雜貨商

旭屋商店
堀本益雄
バストス市街地
電話 一七

吉備共同商會
味 滋 江 野 野 元 真 謹
國 秀 三 一 郎 齊子

ボトランチン棉花會社代理店
内外雜貨
農產物仲買

名刺交換欄
【順序不同】

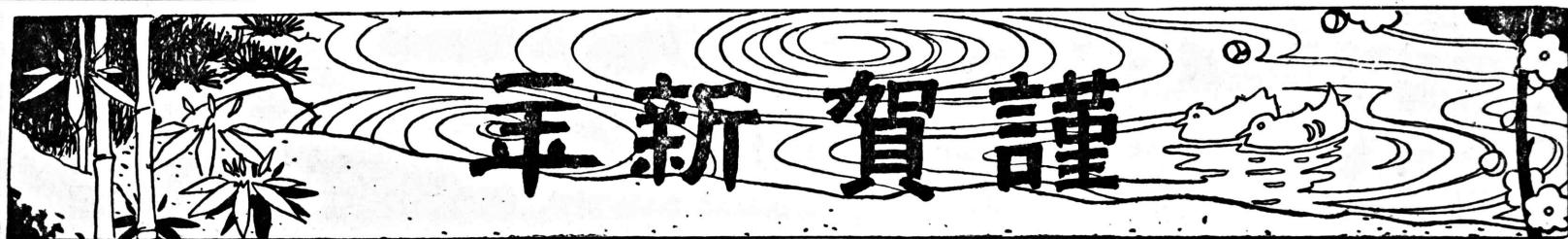
昭和十年元旦



| | | | |
|-------|---|-------|--|
| 内山岩太郎 | 在伯帝國大使館 | 江越信胤 | 勸業部 |
| 小峯俊一 | | 三浦文夫 | 加藤義明 |
| 田付景一 | | 入江一清 | 藤勝周平 |
| 高橋博 | | 北村豊治 | 青木林藏 |
| 鈴木美太郎 | 在サンバウロ 帝國總領事館 | 宇野忠夫 | 金城慎義 |
| 上野毅夫 | | 北村政吉 | 南條榮 |
| 毛孝三 | 在パウル 帝國領事館 | 水野龍 | 黒木定治 |
| 市海本徹雄 | | 上塚周平 | 新富直吉 |
| 古關富彌 | 在リベイロンブレート 帝國總領事館分館 | 原口七郎 | 在サンントス 帝國總領事館出張所 |
| 菱川敬三 | | 柳原桂太 | 在リオアマリリア Rua Direita No. 6 3º, and. sala 2 |
| 海本徹雄 | | 加治木常磨 | 島袋完善 |
| 有山逸郎 | | 東後一美 | 黒木定治 |
| 大澤大作 | | 中野巖 | 新富直吉 |
| 福川薩然 | | 上原直義 | 新富直吉 |
| 村井正藏 | | 尾山龜吉 | 新富直吉 |
| 齋藤武雄 | 在リオアマリリア Rua Angelica No. 63 S. Paulo | 千々和寛 | 新富直吉 |
| 中川忠 | | 岡崎司三 | 新富直吉 |
| 米倉鳳介 | | 重岡健太 | 新富直吉 |
| バール神原 | モーロ・アグド カントン・ショルドン モーロ・アグド | 梅田友太郎 | 新富直吉 |
| 高橋志津雄 | バール高橋 ベラクルース町 | 島袋完善 | 新富直吉 |
| 福原勇 | ノロ線カフエランヴァ 第二バーチ モーロ・アグド | 原口崎藏 | 新富直吉 |
| 和泉春一 | バール日本 リソス市 | 中平三夫 | 新富直吉 |
| 内山吉藏 | リソス 内山吉藏 | 原口崎藏 | 新富直吉 |
| 西川喜諾 | プロミツソン モーロ・アグド | 嶺井政重 | 新富直吉 |
| | | 山下長算 | 新富直吉 |

名刺交換欄

順序不同



昭和十年元日

| | | | |
|-------|-------|--------|--------|
| 宮崎八郎 | 山本政義 | 鈴木季造 | 藤井正人 |
| 原口實 | 酒井伊勢芳 | 山本政義 | 酒井伊勢芳 |
| 村上柳助 | 川原政衛門 | 松隈作七 | 鳴村壽吉 |
| 阿曾沼作藏 | 大石倉太 | 平山源治 | 岡澤一喜 |
| 森部文五郎 | 吉原道夫 | 吉原道夫 | 草場福太郎 |
| 山島朝一 | 岡田嘉九一 | 岡田嘉九一 | 田中一介 |
| 尾崎作次郎 | 大石倉太 | 大石倉太 | 木根内銳郎 |
| 高瀬隆司 | 吉原道夫 | 丹俊男 | 淵田武人 |
| 永利介 | 吉原道夫 | 生野恒太郎 | 岩崎茂一 |
| 堂間嗣有 | 由永利一 | 松隈作七 | 坪内健策 |
| 谷口清政 | 池戸甚太郎 | 安江惣左衛門 | 坪内健策 |
| 野村隆輔 | 間崎之雄 | 筒井義眞 | 久保田五郎 |
| 岩田才市 | 吉永儀平 | 吉永儀平 | 今村富三郎 |
| 重松徳次 | 吉永儀平 | 角田實 | 久保田五郎 |
| 林田伊十 | 吉永儀平 | 高橋甲太郎 | 中尾忠左工門 |
| 吾味瀧藏 | 吉永儀平 | 西本徳右工門 | 杉太郎 |
| 村上柳助 | 吉永儀平 | 下山才松 | 小原兵左工門 |
| 阿曾沼作藏 | 吉永儀平 | 河村數市 | 桑田信三 |
| 森部文五郎 | 吉永儀平 | 道浦秀雄 | 楠幸七 |
| 山島朝一 | 吉永儀平 | 新立善次郎 | 瀬戸口修助 |
| 尾崎作次郎 | 吉永儀平 | 山内明友 | 紺野安吉 |
| 高瀬隆司 | 吉永儀平 | 池田壽夫 | 瀬戸口修助 |
| 永利介 | 吉永儀平 | 正島富六 | 中尾忠左工門 |
| 堂間嗣有 | 吉永儀平 | 笠井兵十 | 坪根村市 |
| 谷口清政 | 吉永儀平 | 中野峯藏 | 坪根村市 |
| 野村隆輔 | 吉永儀平 | 吉永儀平 | 坪根村市 |
| 岩田才市 | 吉永儀平 | 吉永儀平 | 坪内健策 |
| 重松徳次 | 吉永儀平 | 吉永儀平 | 坪内健策 |
| 林田伊十 | 吉永儀平 | 吉永儀平 | 坪内健策 |
| 吾味瀧藏 | 吉永儀平 | 吉永儀平 | 坪内健策 |
| 村上柳助 | 吉永儀平 | 吉永儀平 | 坪内健策 |
| 阿曾沼作藏 | 吉永儀平 | 吉永儀平 | 坪内健策 |
| 森部文五郎 | 吉永儀平 | 吉永儀平 | 坪内健策 |
| 山島朝一 | 吉永儀平 | 吉永儀平 | 坪内健策 |
| 尾崎作次郎 | 吉永儀平 | 吉永儀平 | 坪内健策 |
| 高瀬隆司 | 吉永儀平 | 吉永儀平 | 坪内健策 |
| 永利介 | 吉永儀平 | 吉永儀平 | 坪内健策 |

| | | | | |
|---|---|--|---|---|
| 賀正 大城清次郎 與那嶺喜三郎 金城勘三郎 | 賀正 洗灌屋 矢田商店 農產物仲買 | 賀正 農產物仲買 矢田商店 郵局二八一・電話五五 | 賀正 農產物仲買 矢田商店 郵局二八一・電話五五 | 賀正 農產物仲買 矢田商店 郵局二八一・電話五五 |
| 謹賀新年 日一月一 ○見習募集 但十七、八才迄數名採用 | 謹賀新年 日一月一 寫真業 宮崎洋服店 相變らず平凡で恐れ入りますがよろしく 御引立の程願上ます | 謹賀新年 日一月一 支店 モント・アルボン ソロカバナ線 郵局八一市 | 謹賀新年 日一月一 農產物仲買 大西兄弟商會 ソロカバナ線 郵局橋次郎 | 謹賀新年 日一月一 農產物仲買 矢田商店 ソロカバナ線 郵局久治郎 |
| 年新賀 旦元年十和昭 片岡旅館 郵函一三五 電話一三五 | 年新賀 旦元年十和昭 水田武市 アバレー市 ソロカバナ線 ブレシデンテ・ブルデンテ市 | 年新賀 旦元年十和昭 高橋平 同志會 北バラナ セーラ・グラムデ植民地 郵函一〇九 電話一四七 | 年新賀 旦元年十和昭 東洋旅館 前園次郎 ソロカバナ線 ブレシデンテ・ブルデンテ驛前 郵函一〇九 電話一四七 | 年新賀 旦元年十和昭 吳井上樹義 服商 ソロカバナ線 ブレシデンテ・ブルデンテ市 郵函一一五 電話一一五 |
| 謹賀新年 昭和十年元旦 カーナ・ヤナギ 柳宇太郎 郵函五七 電話五七 | 謹賀新年 日一月一 杉商店 農產物仲買 内外雜貨商 郵函二八一 電話二八一 | 正賀 日一月一 柴田商店 農產物仲買 内外雜貨商 郵函二八一 電話二八一 | 正賀 日一月一 御旅館山陽 荒木時次郎 ソロベタリヤ 郵函二八一 電話二八一 | 正賀 日一月一 前田商店 前田光記 ソロベタリヤ 郵函二八一 電話二八一 |
| 賀正 上野洋服店 上野 強 郵函一五 電話一五 | 年新賀 日一月一 小野商店 小野石夫 ソロカバナ線 郵函一五 | 年新賀 日一月一 バール植田 ソロカバナ線 郵函一五 | 年新賀 日一月一 御旅館光岡 光岡傳一郎 ソロベタリヤ 郵函一五 電話一五 | 年新賀 日一月一 嘉悅商店 嘉悅光喜 ソロカバナ線 小學校前 郵函一五 電話一五 |
| 年新賀 日一月一 今村商店 店主今村新藏 農產物仲買 内外雜貨商 郵函二〇 電話二〇 | 年新賀 日一月一 在耕者一同 アカデミア耕地 實 ソロカバナ線 郵函二一 電話二一 | 年新賀 日一月一 石井商店 石井雄夫 ソロカバナ線 郵函二一 電話二一 | 年新賀 日一月一 石井商店 石井雄夫 ソロカバナ線 郵函二一 電話二一 | 年新賀 日一月一 三田商店 ソロカバナ線 郵函二一 電話二一 |

賀 正
一月元旦

清水安丸

謹賀新年

謹賀新年

昭和十年一月一日

古賀旅館

ビリグヰ
聯合日本人會

ビリグヰ中央日本人會
ビリグヰ植民地日本人會
ノーバプロミツソン
聯合日本人會

賀 正
昭和十年元旦

有 限
プロミツソン

産業組合

謹賀新年

黒島印醤油釀造元
黒島伊平治

ブレジヨ
アレグレ日本人會
マクコ日本人會

柴田一明
裁縫師
柴田勝子

ノロエス線プロミツソン
郵函三五〇・電話一七

龜井寫眞館
龜井哲夫

プロミツソン町驛上通り

謹賀新年

昭和十年一月一日

賀 正
旦元月一
建築用材家具有類
プロミツソン町

片山寫眞館
片山田吉

謹賀新年

昭和十年一月一日

濱井京七
プロミツソン町

謹賀新年

昭和十年一月一日

賀 正
旦元月一
建築用材家具有類
プロミツソン町

増田商店
増田庄吉

麻州カンボグランデ市
マットグロツソム
ミランダ驛

謹賀新年

昭和十年一月一日

力ーザ
プリメイラ

正 賀
旦元年十和昭
理髮店
浦 浦
九 雄郎
六 雄郎
ノロエス・ビリグヰ
プロミツソン町

正 賀
旦元年十和昭
高野洋服店
高野廣志
ノロエス・ビリグヰ
櫻木留次郎
かやき療養院
ハリ・キユウ
オンキヨウ
デンキチリヨウ
ホネヅギ
プロミツソン町

謹賀新年

昭和十年一月一日

賀 正
日一月一年十和昭
便 利 部
杉 本 法 雄
婦人服子供服
カミーザ調製
杉 本 美 津 香
プロミツソン町

謹賀新年

昭和十年一月一日

精米所久保若松
精米所久保若松
ノロエス・ビリグヰ
アラサツーパ市
店主 武部寛一
本店主在 阿鷹富雄
武部嘉一
武部嘉一
浅野好藏
支店主任 浅野好藏
ビリグヰ
ニッポランジャ町
電話 三四
郵函 二〇八
五

謹賀新年

昭和十年一月一日

賀 正
旦元月一
建築用材家具有類
プロミツソン町

正 賀
旦元年十和昭
中村旅館
中村忠吉
ノロエス・ビリグヰ
郵函八五

正 賀
旦元年十和昭
佐賀縣人會
佐賀縣人會
ノロエス・ビリグヰ
プロミツソン町

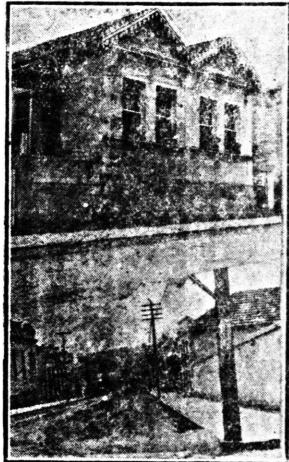
謹賀新年

昭和十年一月一日

内 外 雜 貨 商 中 須 賀 平 三
内 外 雜 貨 商 中 須 賀 平 三
正 賀
旦元年十和昭
理髮店
浦 浦
九 雄郎
六 雄郎
ノロエス・ビリグヰ
プロミツソン町

正 賀
旦元年十和昭
中村旅館
中村忠吉
ノロエス・ビリグヰ
郵函八五

正 賀
旦元年十和昭
武部商店
店主 武部寛一
本店主在 阿鷹富雄
武部嘉一
武部嘉一
浅野好藏
支店主任 浅野好藏
ビリグヰ
ニッポランジャ町
電話 三四
郵函 二〇八
五



【高真】上はスンリ社支事務所

「廿六面より續く」
國からの補助金を唯一の賴みにし
て、唯浦の苦々知らずに組合を產
み出そうとする貧窮な考へ等に、
この事變編の圓滑な誠がとめた
のではないと思ふ。

中

一種民地に一個の購買組合を組織するにても植民者全體が相當の犠牲を拂つて、共同一致の最も自分等の組合を押してたて行く覺悟を最初から決めてか
らなくては駄目だ。

一旦組合員さつたからには、決して組合外の人や、商人等の手

を手にしない様にしなければならぬ。又そうしなくては組合を設立した甲斐がなくなり、自然有名無實にならざり難い販賣の唯一の途であることを信じて加盟し手を把

ふのは列りきつた事だ。又多少の不便が伴ふのが普通だ。又時には

利害關係等で個人的に不快感を感ずる事もあるだらう。

然し全體が購買組合を運用する

事は所屬民地一般否在伯の俺

い時代に於いては多少の無理も併

べく迄も自分等の組合を押してたて

行く覚悟を最初から決めてか
らなくては駄目だ。

一旦組合員さつたからには、創立當初未だ立ちの出来ない

事は所屬民地一般否在伯の俺

い時代に於いては多少の無理も併

べく迄も自分等の組合を押してたて

行く覚悟を最初から決

(號七十四千一第)

| | | | | | |
|--|--|---|---|---|--|
| 謹賀新年 | | 謹賀新年 | | 謹賀新年 | |
| 昭和十年一月一日 プラ拓トレス・パラス移住地 ノロエスティ總代理人 | 昭和十年一月一日 カフエランジア驛 | 昭和十年一月一日 バダリア・セントラル コンフェイタリア | 昭和十年一月一日 ソロカバナ線 ブ・ブルデンテ市 | 昭和十年一月一日 バーチドリ 水 清 水 | 昭和十年一月一日 事務所 カフエランジア驛 |
| 安田旅館 安田庄兵衛 ソロカバナ線 ランシャリヤ駢 | 園田商店 園田久太郎 ソロカバナ線 ランシャリヤ駢 | 賀正 一月一日 ソロカバナ線 ランシャリヤ駢 | 宇佐見信一郎 郵函 二八一 ソロカバナ線 ランシャリヤ駢 | 賀正 一月一日 澤田商店 澤田俊郎 ソロカバナ線 ランシャリヤ駢 | 賀正 一月一日 安谷屋長善 郵函 一二三 ソロカバナ線 ランシャリヤ駢 |
| 飯田商店 飯田亘 ソロカバナ線 ランシャリヤ駢 | BAR NIPPO BRASILEIRO 小田安次郎 茶屋伯男 ソロカバナ線 ランシャリヤ駢 | 賀正 一月一日 バール「玉突」 茶屋伯男 ソロカバナ線 ランシャリヤ駢 | 賀正 一月一日 澤田商店 澤田俊郎 ソロカバナ線 ランシャリヤ駢 | 賀正 一月一日 ガゾリーナ代理店 澤田俊郎 ソロカバナ線 ランシャリヤ駢 | 賀正 一月一日 バダリア・セントラル コンフェイタリア |
| HOTEL BASTOS 謹賀新年 昭和十年元旦 客年中は特別の御引立に預り有難 く奉深謝候 本年も不相變御愛顧の程幸願上候 ソロカバナ線 ランシャリヤ駢 | 謹賀新年 昭和十年一月一日 安宅温泉薬局 ソロカバナ線 ランシャリヤ駢 | 謹賀新年 昭和十年一月一日 伊藤旅館内 ソロカバナ線 ランシャリヤ駢 | 謹賀新年 昭和十年元旦 北御門商店 藤長谷部三市義 ソロカバナ線 ランシャリヤ駢 | 謹賀新年 昭和十年一月一日 野々村太郎 農産物仲買 ソロカバナ線 ランシャリヤ駢 | 年新賀謹 日一月一年和昭 本田旅館 本田勇作 バ線ドアルチーナ市 郵函 一〇〇 ソロカバナ線 ランシャリヤ駢 |
| ホタルバストス 藏力哲夫 ソロカバナ線 ランシャリヤ駢 | 謹賀新年 昭和十年一月一日 運搬業 小野眞 チエテ移住地 第一市街地 | 謹賀新年 昭和十年一月一日 運搬業 小野眞 チエテ移住地 第一市街地 | 謹賀新年 昭和十年一月一日 野々村太郎 農産物仲買 チエテ移住地 第二市街地 | 年新賀謹 日一月一 矢野理髪店 チエテ移住地 第二市街地 | CASA GOTO Seccos e molhados, Bebidas, Miudezas etc. C. Postal 55 E. João Ramalho 昭和十年元旦 内外雜貨商 農產物仲買 ソロカバナ線 ジョンラマリオ駢 |
| 花岡木工所 花岡 チエテ移住地 第一市街地 | 謹賀新年 昭和十年一月一日 運搬業 小野眞 チエテ移住地 第一市街地 | 謹賀新年 昭和十年一月一日 運搬業 小野眞 チエテ移住地 第一市街地 | 年新賀謹 日一月一 矢野親家 チエテ移住地 第二市街地 | 年新賀謹 日一月一 矢野理髪店 チエテ移住地 第二市街地 | 謹賀新年 昭和十年元旦 店主 福島國ヨシ喜 店員 本田武雄 山本民次郎 東藤重蔵 第一市街地 |
| サンタアメリカ植民地 日本人會 昭和十年一月一日 リンス駢 | 謹賀新年 昭和十年元旦 其の他 X光線科 一般歯科 寶臣衛 アラサツーパ市 | 謹賀新年 昭和十年一月一日 口腔外科 矯正科 一般歯科 寶臣衛 アラサツーパ市 | 謹賀新年 昭和十年一月一日 加藤兒一郎 チエテ移住地 第一市街地 | 年新賀謹 日一月一 旅館世界 館主 西河原己代造 チエテ移住地 第一市街地 | 年新賀謹 日一月一 旅館世界 館主 西河原己代造 チエテ移住地 第一市街地 |
| 高津利三郎 チエテ移住地 第二市街地 | 正賀 自動車部 第一市街地間 乗合自動車 休日なし | 正賀 指定旅館 松田製菓店 松田利三郎 チエテ移住地第一市街地 | 正賀 旅館部 ホテル・ベーラ・フロレスタ チエテ移住地第一市街地 | 正賀 内外雜貨商 佐藤清 チエテ移住地 第一市街地 | 謹賀新年 昭和十年元旦 内外雜貨商 佐藤清 チエテ移住地 第一市街地 |

時計を出して見る「一時十分！」すべての音響が云ふ音響は寂さしくなく聖市コンテ街は今深い睡りに落入つてゐる。日本の古話を借りて、なら軒下三寸の五箇刻さりなるらしく、丁度の古語を借りて、街を斯うして僕は何故歩かなければならぬのかつて？答は至極簡単明瞭、「難記者だから」。それで此の夜も僕は一人呼んでシダントンの聲も一人寂しい。この眞夜の街を惹きつけられなかんと、訪問の歩を進めてあるのだ。深更のシヨナルな語句ではないか。だからがシダントンの目に見え出しがつたら、何人か些細な事件でも記事を生がし、読者を惹きつけられなかんセイ風の対話すらも、運営されて、訪問の歩を進めてあるのだ。深更のシヨナルな語句ではないか。

「難記者だから」。それで此の夜も僕は一人呼んでシダントンの聲も一人寂しい。この眞夜の街を惹きつけられなかんと、訪問の歩を進めてあるのだ。深更のシヨナルな語句ではないか。だからがシダントンの目に見え出しがつたら、何人か些細な事件でも記事を生がし、読者を惹きつけられなかんセイ風の対話すらも、運営されて、訪問の歩を進めてあるのだ。深更のシヨナルな語句ではないか。

く上では引き金に手をかけて筒先を向けて待つてゐるだらう。いくら職業は高いへ空手では餘りに危険だ。警官の来るまで待たうが、いや此處は某社の編集部だ。どうりするなら軒下三寸の五箇刻さりなるらしく、丁度の古語を借りて、街を斯うして僕は何故歩かなければならぬのかつて？答は至極簡単明瞭、「難記者だから」。それで此の夜も僕は一人呼んでシダントンの目に見え出しがつたら、何人か些細な事件でも記事を生がし、読者を惹きつけられなかんセイ風の対話すらも、運営されて、訪問の歩を進めてあるのだ。深更のシヨナルな語句ではないか。

ハテ・面妖な新聞街
K・N・記

| | | | |
|---|------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| 賀正 洗濯屋 | 賀正 富士上繁 | 賀正 長島商店 | 賀正 理髪店平屋 |
| ソロカバナ線 ブ・ブルデンテ市 郵函 三六七 | ソロカバナ線 ア・マツシヤード町 郵函 七〇 | ソロカバナ線 ア・マツシヤード駅 郵函 六 | ソロカバナ線 ア・マツシヤード駅 郵函 八二 |
| 賀正 製麵所 | 賀正 雜貨商 | 賀正 吉雄商店 | 賀正 新年 |
| ソロカバナ線 具志堅允宏 郵函 一一三 | ソロカバナ線 ア・マツシヤード駅 郵函 七〇 | ソロカバナ線 吉雄 武保 郵函 六 | 現金主義 薄利多賣 農產物仲買 郵函 一八 |
| 賀正 吉村美髮店 | 賀正 生駒千秋 | 賀正 横尾佐一 | 賀正 年賀新 |
| ソロカバナ線 ブ・ブルデンテ市 郵函 三〇五 | ソロカバナ線 ア・マツシヤード町 郵函 一 | ソロカバナ線 ア・マツシヤード駅 郵函 七三 | ソロカバナ線 ア・マツシヤード駅 郵函 六 |
| 賀正 宮本綾彦 | 賀正 比嘉又榮 | 賀正 初村商店 | 賀正 年賀新 |
| ソロカバナ線 ソルベタリア 郵函 一五 | ソロカバナ線 ア・マツシヤード町 郵函 一 | ソロカバナ線 初村子之吉 郵函 一 | ソロカバナ線 吉雄 武保 郵函 六 |
| 賀正 島田商店 | 賀正 比嘉又榮 | 賀正 初村商店 | 賀正 年賀新 |
| ソロカバナ線 農産物仲買 郵函 八五 | ソロカバナ線 ア・マツシヤード町 郵函 一 | ソロカバナ線 初村子之吉 郵函 一 | ソロカバナ線 吉雄 武保 郵函 六 |
| 賀正 年賀新年 | 賀正 年賀新年 | 賀正 年賀新年 | 賀正 年賀新年 |
| ソロカバナ線 内外雜貨商 郵函 八六 | ソロカバナ線 内外雜貨商 郵函 八六 | ソロカバナ線 農產物仲買 郵函 一 | ソロカバナ線 農產物仲買 郵函 一 |
| CASA SAITO Agencia do Standard Oil Comp. of Brasil Est. Alv. Machado Linha Sorocabana | 賀正 年賀新年 | 賀正 年賀新年 | 賀正 年賀新年 |
| 賀正 年賀新年 | 賀正 年賀新年 | 賀正 年賀新年 | 賀正 年賀新年 |
| ソロカバナ線 内外雜貨 郵函 八六 | ソロカバナ線 内外雜貨 郵函 八六 | ソロカバナ線 農產物仲買 郵函 一 | ソロカバナ線 農產物仲買 郵函 一 |
| 賀正 石黒商店 | 賀正 野村才一郎 | 賀正 大前祐吉 | 賀正 松倉好彌 |
| ソロカバナ線 内外雜貨 郵函 八六 | ソロカバナ線 石黒彦平 郵函 七二 | ソロカバナ線 野村才一郎 郵函 七二 | ソロカバナ線 松倉好彌 郵函 八二 |
| 賀正 齋藤商店 | 賀正 野村才一郎 | 賀正 大前祐吉 | 賀正 佐藤商店 |
| ソロカバナ線 内外雜貨 郵函 一四 | ソロカバナ線 石黒彦平 郵函 七二 | ソロカバナ線 大前祐吉 郵函 四六 | ソロカバナ線 佐藤力夫 郵函 一二四 |
| 賀正 荒毛勝市 | 賀正 井清商店 | 賀正 小林商店 | 賀正 黒岩秀吉 |
| ソロカバナ線 太陽植民地 郵函 一 | ソロカバナ線 吉田寫真館 郵函 一〇四 | ソロカバナ線 小林好平 郵函 三七番 | ソロカバナ線 黒岩秀吉 郵函 一 |
| 賀正 荒毛勝市 | 賀正 井清商店 | 賀正 小林商店 | 賀正 黒岩秀吉 |
| ソロカバナ線 太陽植民地 郵函 一 | ソロカバナ線 吉田寫真館 郵函 一〇四 | ソロカバナ線 小林好平 郵函 三七番 | ソロカバナ線 黒岩秀吉 郵函 一 |
| 賀正 荒毛勝市 | 賀正 井清商店 | 賀正 小林商店 | 賀正 黒岩秀吉 |
| ソロカバナ線 太陽植民地 郵函 一 | ソロカバナ線 吉田寫真館 郵函 一〇四 | ソロカバナ線 小林好平 郵函 三七番 | ソロカバナ線 黒岩秀吉 郵函 一 |
| 賀正 荒毛勝市 | 賀正 井清商店 | 賀正 小林商店 | 賀正 黒岩秀吉 |
| ソロカバナ線 太陽植民地 郵函 一 | ソロカバナ線 吉田寫真館 郵函 一〇四 | ソロカバナ線 小林好平 郵函 三七番 | ソロカバナ線 黒岩秀吉 郵函 一 |



昭和十年元旦

| | | | | |
|-------|---------------|---------------|-----------------------------|---------------|
| 山田國三郎 | 長谷川二郎 | 中尾光藏 | 日本理髪館 | 松本高信 |
| 社友 | サンバクロ市 | ビネーロス | ア・ウエンセスラウ町 | ア・ウエンセスラウ町 |
| 昭生小學校 | ノーベ・ヨーロッパ驛 | ア・マツシヤード驛 | ア・ブルデンテ市 | ア・ブルデンテ市 |
| 伊藤徳太郎 | ド・ブルデンセ線 | ア・マツシヤード驛 | ア・マツシヤード驛 | ア・マツシヤード驛 |
| 第一小學校 | ノ・ブルデンテ驛 | ア・マツシヤード驛 | ア・マツシヤード驛 | ア・マツシヤード驛 |
| 坂井大吉 | ボア・ピスマ植民地 | ア・マツシヤード驛 | ア・マツシヤード驛 | ア・マツシヤード驛 |
| 西謙次郎 | ブ・ブルデンテ市 | ア・マツシヤード驛 | ア・マツシヤード驛 | ア・マツシヤード驛 |
| 朝日勇次郎 | ラ・ス・トス移住地 | ラ・ス・トス移住地事務所 | ラ・ス・トス移住地事務所 | ラ・ス・トス移住地事務所 |
| 板垣伊八 | ラ・ン・シ・ナ・リ・ア驛 | ラ・ン・シ・ナ・リ・ア驛 | ラ・ン・シ・ナ・リ・ア驛 | ラ・ン・シ・ナ・リ・ア驛 |
| 寺本林次郎 | ラ・ス・トス移住地 | ラ・ス・トス移住地事務所 | ラ・ス・トス移住地事務所 | ラ・ス・トス移住地事務所 |
| 諸角與吉 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 |
| 原利貞 | ラ・ス・トス移住地 | ラ・ス・トス移住地 | ラ・ス・トス移住地 | ラ・ス・トス移住地 |
| 座光寺敏子 | アルト区 | アルト区 | アルト区 | アルト区 |
| 和田嘉七 | 文化植民地 | 文化植民地 | 第一モンソン植民地 | カ・ン・バ・ラ市 |
| 前川仁平 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 | ソロカ・バ・ナ線 ア・グ・ア・ピ・ア・ード植民地 | カ・ン・バ・ラ市 |
| 柴岡善三郎 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 |
| 前川仁平 | ア・ウエンセスラウ驛 | ア・ウエンセスラウ驛 | ア・ウエンセスラウ驛 | ア・ウエンセスラウ驛 |
| 西山悟 | カ・ン・バ・ラ市 | カ・ン・バ・ラ市 | カ・ン・バ・ラ市 | カ・ン・バ・ラ市 |
| 西浦宇治郎 | クワタ日本人會 | クワタ日本人會 | クワタ日本人會 | クワタ日本人會 |
| 荒井満雄 | サ・ウ・ア・小學校 | サ・ウ・ア・小學校 | サ・ウ・ア・小學校 | サ・ウ・ア・小學校 |
| 我妻三郎 | カ・ス・カ・ツ・タ區 | カ・ス・カ・ツ・タ區 | カ・ス・カ・ツ・タ區 | カ・ス・カ・ツ・タ區 |
| 佐野万太郎 | 北・ホ・ダ・出・身 | 北・ホ・ダ・出・身 | 北・ホ・ダ・出・身 | 北・ホ・ダ・出・身 |
| 佐藤金作 | バ・ス・トス移住地 | バ・ス・トス移住地 | バ・ス・トス移住地 | バ・ス・トス移住地 |
| 長橋長四郎 | プロ・ケ・レ・ツ・区 | プロ・ケ・レ・ツ・区 | プロ・ケ・レ・ツ・区 | プロ・ケ・レ・ツ・区 |
| 佐野万太郎 | プロ・ケ・レ・ツ・区 | プロ・ケ・レ・ツ・区 | プロ・ケ・レ・ツ・区 | プロ・ケ・レ・ツ・区 |
| 窪田和夫 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 |
| 荒井満雄 | サ・ウ・ア・区 | サ・ウ・ア・区 | サ・ウ・ア・区 | サ・ウ・ア・区 |
| 我妻三郎 | カ・ス・カ・ツ・タ小學校 | カ・ス・カ・ツ・タ小學校 | カ・ス・カ・ツ・タ小學校 | カ・ス・カ・ツ・タ小學校 |
| 織田俊夫 | カ・ス・カ・ツ・タ區 | カ・ス・カ・ツ・タ區 | カ・ス・カ・ツ・タ區 | カ・ス・カ・ツ・タ區 |
| 大野清一郎 | プロ・ケ・レ・ツ・区 | プロ・ケ・レ・ツ・区 | プロ・ケ・レ・ツ・区 | プロ・ケ・レ・ツ・区 |
| 高野高吉 | バ・ス・トス移住地 | バ・ス・トス移住地 | バ・ス・トス移住地 | バ・ス・トス移住地 |
| 梶原正人 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 |
| 山村齊 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 |
| 高澤清次 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 |
| 赤木宗春 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 |
| 岡村實志 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 |
| 古澤藤太郎 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 |
| 木下正昌 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 |
| 齋藤太郎 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 |
| 佐藤喜美 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 | エ・ス・ペ・ラン・サ區 |
| 寺本林次郎 | ボン・フ・ヰ・ン・区 | ボン・フ・ヰ・ン・区 | ボン・フ・ヰ・ン・区 | ボン・フ・ヰ・ン・区 |
| 諸角與吉 | ラ・ス・トス移住地 | ラ・ス・トス移住地 | ラ・ス・トス移住地 | ラ・ス・トス移住地 |
| 原利貞 | アルト区 | アルト区 | アルト区 | アルト区 |
| 座光寺敏子 | 北・バ・ラ・ナ | 北・バ・ラ・ナ | 北・バ・ラ・ナ | 北・バ・ラ・ナ |
| 和田嘉七 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 |
| 前川仁平 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 |
| 西山悟 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 |
| 西浦宇治郎 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 | ラ・ゴア・セ・ツ・カ植民地 |

謹 言 賀 新 年

昭和十年元旦

A black and white illustration showing a close-up view of a plant's leaves and stems. The drawing is done in a sketchy, expressive style with heavy black outlines. It depicts several long, narrow leaves with distinct veins, some of which are curved or folded. The background is dark and textured, suggesting a dense forest floor or foliage.

A black and white line drawing of a winding path or stream flowing from the left foreground towards the right background. The path is surrounded by stylized trees and flowers, including a prominent flower in the upper right corner.

BAR DO CENTRO
Ser fiel ao Mikado

賀 正
一月一日
美味い珈琲
突き心地良い玉突鑿

セントロ
ビセンテ・デラ・モニカ
ブ・ブルアンテ市
ニウトン・アントン
ブラード街五三
郵局二二七

賀 正
一月一日
皆様の元氣に召す最近
流行御仕立の出来合服
「シック・リバーロ商店隣り」

謹賀新年

昭和十年一月一日

運搬業
乗合自動車 大玉龜之助

第一市街地間 ルサンピーラ驛

旅館 保坂龜藏
第一市街地

チエテ移住代理人
チエテ视察者には乗車券を支給します

アラサツバ
製菓商 小松武次
旅館 平井八十衛
製麵所 伊藤嘉平次
鐵工所 年越寅一
バール 原盛房
精米所 安瀬盛次
雜貨商 同岡崎壽三郎
同大原泰三
同菅山誠
同出利葉羊三
同一ノ瀨勘助
同武部寛一

地民植アイベンボ 年 新 賀 謹

線長延タスリウバ
驛アイベンボ

愛媛縣・高知縣・熊本縣・佐賀縣・長崎縣・福岡縣・大分縣・宮崎縣・鹿兒島縣・沖縄縣

新伏安田西稻部富淺本大大西龜本福乃大島南狩原福豐中和久原福西井加久竹山坂洲上上富渡山大渡中加岩高高都江瀧河河角稻加工齋
演見内田丸村田永尾田西島田井田島美前田邦殷田田岡田富保島村浦藤富川本本本田崎田邊下西邊村谷下本木田藤石野野矢波
寶豊太只太敏文一與俊季健賢專政捨靜仁太仁元數又定太太義繁助豊四榮欣源大市芳之玉晴太太政佳一定米武二益哲二太
一郎喜元郎治六三市藏雄作永象人吉三茂師郎作一美雄清春吉郎胤記涉治吉郎喜彌次八孝次光吉一義郎古馬二蘿司古船郎藤郎重雄治